

自然×科学で、豊かな未来。

MARUO CALCIUM

丸尾カルシウム株式会社
Corporate Profile



あらゆる可能性を秘めた
炭酸カルシウム。
その機能を最大限に引き出し
人と社会に
豊かさと快適さを。

丸尾カルシウム株式会社 代表取締役社長

丸尾 治男



MARUO CALCIUM

私たち丸尾カルシウムは、炭酸カルシウムの総合メーカーです。1926年（大正15年）10月、万葉集や源氏物語にも謳われた、風光明媚な兵庫県明石の地に創業いたしました。

「白亜」という塗料業界向け炭酸カルシウムの製造から出発した事業は、日本経済とりわけ化学産業の発展と共にその規模を拡大し、新製品を次々と開発してまいりました。

現在、炭酸カルシウムは、ゴム、製紙、プラスチック、接着剤、シーリング材、インク、食品、電子部品材料、自動車部品材料等、私たちの生活の様々な場面で使用される多くの製品の機能を高めるために活用されています。

私たちは、事業の根幹を「研究開発」に置いています。品質を重視し、お客様の多様なニーズに応える応用研究と炭酸カルシウムの新たな可能性を追求する基礎研究の両立が大切であると考えています。発明・発見ほど人をワクワクさせるものではありません。

また、日進月歩のIT技術を活用して、生産技術の改善にも取り組んでいます。安定した供給体制、優れた品質の実現は当然のこととして、人と環境に優しい生産体制の確立を目指しています。

私たちの製品は、日本国内のお客様はもとより、中国、韓国、東南アジア、北米、南米、EU等、広く世界のお客様に満足してご使用いただいております。

太古の海底で生成された炭酸カルシウムは、世界中に石灰石という形で広く分布しており、有史以来人類社会の発展と共にあったと言っても過言ではありません。

あらゆる可能性を秘めた、この炭酸カルシウムという素材の機能を最大限に引き出し、人と社会に豊かさと快適さを提供し続けることが、私たち丸尾カルシウムの使命であると考えます。

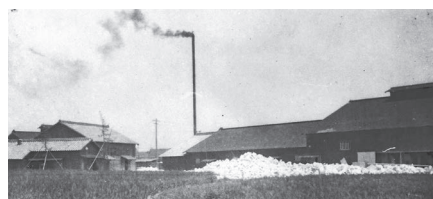
基本方針

- 一、我々は信義を尊び誠実を旨として 広く社会の信頼を得よう。
- 一、我々は未知に挑戦し困難に立ち向かう勇気と力を持とう。明日を切り拓くために。
- 一、我々は良いものを造ろう。社の名誉にかけて
- 一、我々は栄光の社歴と光輝ある伝統をふまえ 社の繁栄のもと生活の向上を図ろう。

History

1926 大正15年

丸尾儀兵衛（五代）が
丸尾製粉合資会社を設立、創業
塗料用体質顔料の製造販売開始



1931 昭和6年

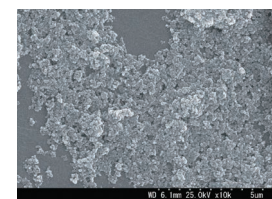
軽質炭酸カルシウムの
製造開始

1934 昭和9年

重質炭酸カルシウムの
製造開始

1949 昭和24年

コロイド炭酸カルシウムの
製造開始



1963 昭和38年

社名を
丸尾カルシウム
株式会社に変更

1964 昭和39年

土浦工場完成
大阪証券取引所市場第二部上場



1983 昭和58年

中央研究所を新設



2013 平成25年

東京証券取引所
市場第二部上場

2017 平成29年

本社事務棟完成



製品紹介

多くのメリットを持ち、多様な可能性を持つ夢の素材、炭酸カルシウム。
今後さらなる用途の広がりが予想されます。
丸尾カルシウムは各分野で求められる優れた製品を開発していきます。

Web <https://www.maruo-cal.co.jp/html/product.html>



合成樹脂分野



■シーリング材・接着剤・プラスチゾル

シーリング材、接着剤、プラスチゾルは主にペースト状に設計されますが、使用される用途に応じてパテ状、液状等多岐にわたる粘度設計が求められます。コロイド・軽質炭酸カルシウム系は、主にパテ状、ペースト状に、重質炭酸カルシウム系は液状に設計する用途、あるいはペースト状の粘度調整に用いられます。最近では強度や伸び率アップ、接着性改良、貯蔵安定性等の機能性向上に寄与できる原料として使用実績が年々増えています。

用途例

建築用シーリング材・接着剤の作業性、貯蔵安定性向上
補強、弾性機能向上
自動車用プラスチゾルのアンダーコート・ボディシーラーの接着性、耐スリップ性向上等

主な製品

■コロイド・軽質炭酸カルシウム系…… MSK-PO、カルファイン200、カルファイン200M、カルファイン200S、カルファイン500、カルファイン20S、カルファインN-2、カルファインN-350、カルファインN-40、カーレックス35 他
■重質炭酸カルシウム系…………… R重炭、重炭N-35、スーパーS、スペシャルライスS、スーパーSS、スーパーSSS、スーパー4S、スーパー#1500、スーパー#1700、スーパー#2000、スーパー#2300、ナノックス#25、ナノックス#30 他



■フィルム用途

当社では各種フィルムの添加剤に使われる製品を取り扱っています。粒子の均一性や分散性に優れており、アンチブロッキング・光学材料用途に適しています。用途に応じて、ポジティブリスト（ポリオレフィン等衛生協議会）に適合した製品も取り扱っています。

用途例

産業用プラスチックフィルムの添加剤（アンチブロッキング・光学材料用途）
透湿フィルム（おむつ・衛生材用途）の添加剤

主な製品

■コロイド・軽質炭酸カルシウム系…… N-2、カルファインN-40、CUBE-18BHS、CUBE-50KAS、CUBE-80KAS、カルファインYM23
■重質炭酸カルシウム系…………… スノーライトS～#1500、MCコート S-1、MCコート S-20、スーパー#2000、ナノコートS-25～30、カルテックスS-7A、R-30、R-50A、R-70H



■プラスチック用途

炭酸カルシウムにはプラスチックの硬さを調節し、衝撃に耐える強度や耐屈曲性、寸法安定性などを向上させたりする機能があります。用途に応じて、ポジティブリスト（ポリオレフィン等衛生協議会）に適合した製品も取り扱っています。

用途例

電線被覆材、壁紙等の合成樹脂製品の充填剤
バスタブ・洗面台・サッシ等のプラスチック製品の寸法安定性、意匠性付与副原料

主な製品

■コロイド・軽質炭酸カルシウム系…… MSK-P、MSK-PO、カルファイン200、カルファイン200M、カルファイン500、カルファイン20S、カルファインN-350、カルファインN-40、カーレックス100、カーレックス300、N-2、MC-K 他
■重質炭酸カルシウム系…………… 重炭N-35、重質炭酸カルシウム、スーパーS、スペシャルライスS、スーパーSS、スーパーSSS、スーパー4S、スーパー#1500、スーパー#1700、スーパー#2000、スーパー#2300、ナノックス#25 他

塗料・インク分野



塗料には、壁面に塗った場合の液だれ防止、塗膜の光沢、つやの調節、あるいは塗膜強度アップのために、インクには、印刷時のにじみやかすれ防止、乾燥速度調整等に炭酸カルシウムが用いられています。

用途例

建築塗料の原料
粉体塗料の原料
道路用塗料の原料
船舶用塗料の原料
耐火被覆材の原料
新聞インキ、グラビアインキ、オフセットインキの原料

主な製品

■コロイド・軽質炭酸カルシウム系…… カルファイン200、カルファイン200M、カルファイン500、カルファインN-40、MS-2000、N-2、MC-K、MC-S II、ルミナス、ウイスカル、軽質炭酸カルシウム
■重質炭酸カルシウム系…………… R重炭、重炭N-35、重質炭酸カルシウム、スーパーS、スペシャルライスS、スーパーSS、スーパーSSS、スーパー4S、スーパー#1500、スーパー#1700、スーパー#2000、スーパー#2300 他

ゴム分野



炭酸カルシウムはゴムの中で分散し、ゴムの分子を強く結びつけ、熱安定性、耐摩耗性や引っ張り強度・引き裂き強度を高める働きをし、ゴム製品の用途拡大に大きく役立っています。

用途例

ゴムホース、ゴムベルト等ゴム製品用補強剤

主な製品

■コロイド・軽質炭酸カルシウム系…… MSK-C、カルファイン200、カルファイン200M、カルファイン500、カルファインN-40、軽質炭酸カルシウム
■重質炭酸カルシウム系…………… R重炭、重炭N-35、重質炭酸カルシウム、スーパーS、スペシャルライスS、スーパーSS、スーパーSSS、スーパー4S、スーパー#1500、スーパー#1700、スーパー#2000、スーパー#2300 他

食品添加物・局方用分野



カルシウムは人体に必要な無機質の中でも特に鉄と共に重要な栄養素のひとつです。そこで食品添加物公定書、日本薬局方の規格に合致した製品を用意しました。食品強化剤として用いられている各種カルシウム剤の中で炭酸カルシウムは、カルシウム含有量が多いので少量添加で効果があり、無味・無臭であるため、風味への影響を他のカルシウム剤と比べて少なくする事が可能です。また、高純度の原料を使用し、日本薬局方に適合した炭酸カルシウムは、医薬品用として使用できます。

用途例

カルシウム強化、PH調整を目的とする菓子類、飲料、即席麺等への添加剤

主な製品

■コロイド・重質・軽質炭酸カルシウム系…… カルフード（食品添加物用）、沈降炭酸カルシウム（局方用）

丸尾カルシウムの根幹である 研究開発

炭酸カルシウムの用途が拡大し、当社製品に対するニーズもますます高度化・多様化しています。それら一つひとつのご依頼にきめ細かくお応えするため、長期的視野に立って新技術を獲得するとともに、基礎研究に重点を置き、豊かな創造力を以て応用研究開発へと発展させています。炭酸カルシウムの未知なる可能性と新たな価値を発見する独自の視点で、私たちはこれからも絶え間ざる製品開発に取り組んでいきます。



より幅広い優れた素材を提供する 販売体制

東京・名古屋・大阪に販売拠点を置き、研究開発部門と連携し、年々多様化するお客様のニーズを的確につかみ、お客様のご要望にお応えできる体制を整えています。また、炭酸カルシウム総合メーカーとして優れた素材を見極める確かな目を活かして、自社製品以外の輸入・販売も行い、湿式シリカなどの各種製品も扱っています。一方、海外展開にも力を入れ、2003年には中国・上海に丸尾（上海）貿易有限公司を設立しました。現在では、輸出先は20カ国に及びます。

高品質と安定供給を支える 生産体制

本社工場をはじめ、土山、土浦の3工場と関連会社による量産体制をいち早く確立し、ナノオーダーの炭酸カルシウムの生産量では世界トップクラスの生産システムを構築。コスト削減や多品種少量生産の実践など、時代のニーズを先取りする生産システムの改革も積極的に推進しています。また、お客様の多様なご要望にお応えできるよう、東京・大阪に配送センターを配置し、柔軟なサポート体制と迅速な配送体制を確立しています。



事業所紹介

お客様のニーズに確かな品質でお応えする丸尾カルシウムのネットワーク。
各事業所・拠点の強みを最大限に発揮し、
開発から生産・販売まですべての工程を自社一貫とすることで、
価値ある製品づくりに努めています。

Web https://www.maruo-cal.co.jp/html/company_list.html





兵庫県明石市魚住町西岡 1455

TEL. 078-942-2112

<https://www.maruo-cal.co.jp/>

会社概要

社名	丸尾カルシウム株式会社 MARUO CALCIUM CO.,LTD.
本社所在地	〒674-0084 兵庫県明石市魚住町西岡1455
創業	1926年(大正15年)10月1日
設立	1948年(昭和23年)11月18日
資本金	8億7,655万2,069円
代表者	代表取締役社長 丸尾 治男
従業員数	272名(2024年3月期連結)
売上高	128億89百万円(2024年3月期連結)
主要事業	炭酸カルシウム製造・販売、その他工業原材料品の製造・販売
営業品目	各種コロイド炭酸カルシウム 軽質炭酸カルシウム 各種重質炭酸カルシウム 食品添加物炭酸カルシウム 動物用医薬品炭酸カルシウム 消石灰、生石灰 湿式シリカ タルク、クレー、けい石粉等の各種鉱物原料

グループ会社概要

■ 九州カルシウム株式会社

資本金	2,000万円
所在地	福岡県京都郡みやこ町勝山箕田152-1
事業内容	各種重質炭酸カルシウム、 表面処理重質炭酸カルシウム等の製造

■ 丸尾(上海)貿易有限公司

資本金	700,000 US\$
所在地	上海市婁山関路85号 東方国際大厦D座D-310室
事業内容	各種炭酸カルシウム、タルク、クレー等の鉱物原料、 その他工業用各種原材料の販売他

沿 革

1926年	10月	兵庫県明石郡魚住村西岡に丸尾製粉合資会社を設立、塗料用体質顔料の製造販売開始
1928年	1月	播磨製粉合資会社を吸収合併、明石製粉株式会社を傘下に収める
1931年	3月	軽質炭酸カルシウムの製造開始 神戸出張所を開設
1932年	9月	東京出張所を開設
1934年	6月	大阪出張所を開設 重質炭酸カルシウムの製造開始
1939年	12月	大阪市大正区小林町に丸尾商事株式会社を設立、販売部門を別組織とする
1944年	8月	丸尾商事株式会社東京営業所を別組織とし、日東白堊株式会社を設立
1948年	11月	丸尾製粉株式会社を設立、本店を大阪市東区淡路町に置く
1949年	2月	コロイド炭酸カルシウムの製造開始
1949年	8月	丸尾製粉株式会社が丸尾製粉合資会社を吸収合併、本店所在地を明石市魚住町西岡に変更
1950年	7月	明石製粉株式会社を吸収合併
1953年	4月	丸尾商事株式会社を吸収合併、大阪営業所とする
1957年	3月	土山工場完成、コロイド及び軽質炭酸カルシウムの製造開始
1959年	12月	東洋白土株式会社を設立
1961年	3月	名古屋出張所を開設
1963年	8月	社名を丸尾カルシウム株式会社に変更 関係会社日東白堊株式会社は日東カルシウム株式会社に社名変更
1964年	1月	土浦工場完成、コロイド及び軽質炭酸カルシウムの製造開始 大阪証券取引所市場第二部上場
1965年	5月	日東カルシウム株式会社を吸収合併、東京営業所とする
1979年	4月	九州カルシウム株式会社を設立
1983年	10月	中央研究所を新設
1989年	6月	大阪市福島区に丸尾大阪ビル完成、大阪営業所移転
2001年	3月	受注センターを開設
2003年	9月	丸尾(上海)貿易有限公司を設立
2007年	9月	東莞立丸奈米科技有限公司を設立
2013年	7月	東京証券取引所市場第二部上場
2017年	3月	本社事務棟完成